

# 大阪府立大学 産学官連携機構 ヘリウム液化室



産学官連携機構本館裏正面（1階、ヘリウム液化室）



ヘリウム液化機 Linde LHe 貯槽容器

大阪府立大学では平成7年度に先端科学研究所（現、産学官連携機構）本館の完成と同時に、ヘリウム液化機（Linde、TCF20）が全学共同設備として設置された。8階建ての本館には回収配管が整備されており、学内共同利用のSQUID磁力計を始め、超伝導電磁石、希釈冷凍機、SQUID顕微鏡、NMRなどを用いた物性研究が行われている。その他、学内には超伝導電磁石、NMR、SQUID磁力計などがあるが、回収配管がないため業者から液体ヘリウムを購入し、蒸散させている。そこで、学内ヘリウムリサイクル配管ネットワークの整備を目下の緊急課題として数年前から大学に強く要望し、今年度、一部実現する見通しである。



He 液化用圧縮機 DSB 140  
× 6)



He 回収用圧縮機 東亜潜水 YS-85



回収用長尺カードル (75Nm<sup>3</sup>)

ヘリウム液化システム 1995年導入		処理能力	
ヘリウム液化機	Linde TCF20 40L/h	ヘリウム液化用圧縮機	DSB140 672.0
ヘリウム貯槽容器	500L	ヘリウム回収圧縮機	YS-85 552.7
液化用圧縮機	KAESER DSB 140 0.93MPa	貯槽能力	494.7 m <sup>3</sup>
回収用圧縮機	東亜潜水 YS-85		
ヘリウム回収ガスバッグ	20m <sup>3</sup>		

液体窒素貯槽タンク 3000L

刊行物：特になし  
連絡先：野口 悟（工学研究科、電子物理工学分野）

〒599-8570 堺市中区学園町1-2  
大阪府立大学産学官連携機構 ヘリウム液化室

ヘリウム液化システム系統図  
大阪府立大学産学官連携機構 ヘリウム液化室